

地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター令和4年度業務実績評価に係る評価委員会の意見について（案）

令和4年度における地方独立行政法人東京都健康長寿医療センターの業務については、「優れた業務の進捗状況にある」と認められる。評価の決定に際しては、次の点について留意されたい。

- ・ 新型コロナウイルス感染症の拡大に対し、令和4年度においても、引き続き各取組において迅速かつ柔軟に対応していると考えられる一方、評価に当たっては、新型コロナウイルス感染症の影響を受けていない令和元年度以前の状況との比較も必要である。
- ・ 病院部門では、高齢者の特性に配慮した「治し支える医療」の実現に向けて、重点医療を中心に的確に取り組むとともに、地域の医療機関等との連携や「高齢者医療モデル」の確立・普及に努めている。引き続き高齢者の急性期医療を担う病院としての役割を果たしていくことが求められる。
- ・ 研究部門では、高齢者に特有な疾患と老年症候群を克服するための研究について、世界初の技術を開発・利用して筋肉の運動持久力を向上させる新規化合物を発見し、サルコペニア等の筋疾患への予防・治療法への応用に寄与するなど、成果を上げている。引き続き、病院と研究所とを一体的に運営する法人の特長を生かした研究を推進するとともに、研究成果の社会への還元を期待する。
- ・ 令和4年度の新型コロナウイルス感染症への対応においては、病床の一部を休止しながらも、病院部門と研究部門が連携してPCR検査の実施を進め、積極的に患者の受入れを行ったほか、東京都が運営する宿泊療養施設やワクチン大規模接種会場等へ看護師・薬剤師を派遣するなど、公的医療機関としての役割を果たした。引き続き、法人全体が一丸となって感染症対策に取り組むとともに、アフターコロナを見据えた体制の整備や患者確保策のより一層の推進を期待する。

また、第四期中期目標の達成に向けては、法人が次の取組を推進することを期待する。

- ・ 医業収入をより一層確保するための取組を進めるとともに、引き続き経営分析等を活用したコスト管理体制の強化に取り組んでほしい。
- ・ 引き続き、患者満足度調査等を活用しながら、患者サービスの向上に向けた取組を一層推進し、患者中心の医療に取り組んでほしい。